

【発行日】
令和8年6月1日
【発行】
鹿嶋市教育委員会
【連絡先】
鹿嶋市教育委員会 総務就学課
Tel.0299-82-2911 (内線521)



教育かしま

安全運転とながら見守りで 鹿嶋の子どもを守ろう。

新年度が始まり2か月が経過しました。子どもたちも通学に慣れ、少し余裕が出てきたこの時期が要注意です。ドライバーの方は子どもたちを見かけたら減速運転をお願いします。また、日常生活の中で「地域の目」を増やすことが子どもたちの安全・安心に繋がります。

1 通学路の安全対策

学校より報告された通学路上の危険箇所について、国、県、市道の道路管理者、警察署、学校と市教育委員会職員による合同点検を実施し、「通学路安全対策推進会議」にて対策を協議しています。

令和7年度は12か所の点検の結果、新たに下表のとおり3路線を交通安全プログラム路線に位置付けました。継続事業の10の路線とともに安全対策を進めます。

◇令和7年度交通安全プログラム路線（追加）

路線・箇所	対応策の要望
①国道51号武井釜408付近	押しボタン式信号機設置など
②国道51号浜津賀354-1付近	ガードレールや柵の設置など
③市道6080号線神向寺253-2	「通学路」の路面表示の設置

2 児童生徒が関係した交通事故の発生状況

◇鹿嶋市内における児童生徒が関係する交通事故発生状況
(鹿嶋市教育委員会調べ)

		件数	自損	相手車両有				
				徒歩	自転車			
					飛び出し	出会い頭	店舗前	路駐車両
令和6年度	小	2		2				
	中	2			2			
令和7年度	小	2	1	1				
	中	5	2			1	2	
計		11	3	1	2	2	1	2

令和6年度は4件、7年度は7件の交通事故が発生し、そのほとんどが7月までに発生しています。

運転時には、周囲の安全確認に配慮した防衛運転^{*}をお願いします。また、横断待ちの歩行者を認めた際には横断歩道の手前での一時停止をお願いします。
*飛出しなどの危険を予測し一時停止の準備を怠らない余裕を持った運転。

3 不審者から子どもを守ろう

令和6～7年度の2年間に各学校及び鹿嶋警察署に通報された子どもたちに関係する不審者情報は下表のとおりです。6割が下校時間帯に発生しています。

防犯対策には「地域の目」を増やすことが大切です。ウォーキングや犬の散歩、花の水やりなどの日常生活をしながら、子どもの見守りをお願いします。

◇鹿嶋市内における児童生徒が関係する不審者情報件数

(鹿嶋市教育委員会調べ)

	種類(重複有)						計
	声掛け	付きまとい	撮影	わいせつ/露出	暴力	その他	
学校からの通報によるもの	22	10	8	5	1	3	49
鹿嶋警察署への通報によるもの	6	4	3	2	0	0	15
計	28	14	11	7	1	3	64
割合(%)	43.7	21.9	17.2	10.9	1.6	4.7	100.0

茨城県警察防犯アプリ
「いばらきポリス」の
ダウンロードはこちらから！



▲iOS



▲Android

“健やかな成長”を支える『学校給食』

学校給食は、成長期にある子どもたちの健やかな成長のため栄養バランスを重視した食事を提供しています。

栄養バランスのとれた食事には主食・主菜・副菜を揃えることがポイントです。例えば、ご飯とおかずを一緒に食べると、ビタミンB₁の働きでスムーズにご飯がエネルギーに変換され、エネルギーがしっかりととれるので、おかずのたんぱく質が効率的に皮膚や筋肉になります。つまり栄養バランスが崩れると元気が出ないし、身体の成長に影響するということです。このように、学校給食の献立は『学校給食摂取基準』に基づきエネルギー、塩分、カルシウムなどの栄養量を考えて作成しています。

また、季節感を大事にした行事食献立や地場産食材を使った献立、日本各地や世界の料理のほか、子どもたちが献立を考えるリクエスト給食なども実施し、食を通していろいろな知識も深めています。

◇令和8年度学校給食費について

令和8年4月より、小学校の児童の学校給食に必要な食材費について、国が地方自治体を支援する取り組み「**小学校給食費の抜本的な負担軽減の支援策**」がスタートし、小学生の学校給食費は無償になりました。ただし、中学生については「抜本的な負担軽減の支援策」の対象外となりますので、引き続き納入をお願いします。



▲行事食献立『こどもの日』

旬を迎える鰹と筍を取り入れたメニュー（かつおカツ、若竹汁など）鰹は勝負・出世運、筍は子どもがまっすぐ元気に育つことを象徴する縁起物でもあります。

▲茨城・鹿嶋食材の日献立

毎月19日（食育の日）頃に提供する地元茨城県産の食材を多く使ったメニュー（米粉パン、ローズポークメンチカツなど）

学校給食の写真や献立表（給食だより）
レシピなどは鹿嶋市ホームページから▶



体育祭も猛暑を避け「初夏」開催へ

近年の記録的な猛暑により、学校では児童生徒への健康管理指導とともにWBGT（暑さ指数）を意識した学校運営を進めています。

秋に開催していた体育祭（運動会）は初夏に開催する学校が増え、鹿嶋市でも本年度は8つの小学校、5つの中学校が6月までの開催予定です。

大野中学校では猛暑に伴う安全対策から、平成25年に体育祭を初夏へ移行し、令和以降は競技種目を見直したことで午前中のみで開催へと変更しました。結果的に、初夏に移行したことで、修学旅行などの秋の行事や部活動の新人戦と重ならず、生徒の負担が分散され、それぞれの活動に集中することができるようになりました。また、新学期早期に体育祭を実施することは、チームで一つの目標に向かうことで一層の絆づくりが進み、クラスの雰囲気づくりを大きく促すことにもつながります。さらに、5月は気候が安定し、梅雨前で暑さや台風の影響を受け

にくいこともメリットの一つと捉えています。

本年度、大野中学校は雨天順延により5月25日（月）に体育祭を開催しました。平日にも関わらず、多くの保護者が応援に駆けつけていました。

好天にも恵まれ、保護者からは「涼しくて熱中症の心配がなく安心。」との感想のほか、「子どもは地域クラブ活動もあるので、平日開催はありがたかった。」などの声も聞かれました。

土・日に開催することが主流であった体育祭も、子どもたちの生活や世の中の働き方の変化もあり、今後は平日に開催する学校も増えそうです。



新しい連携プロジェクト 「ウィッシュリスト」始動

鹿嶋市と鹿島アントラーズは、地域課題をともに解決する新しい官民連携プロジェクト「ウィッシュリスト」を始動しました。

この取り組みは、教育現場の願いをアントラーズビジネスクラブに加盟する企業と共有するものです。

[教育現場への迅速な対応が実現]

プロジェクトの第1弾として、教育環境の整備に多大なるご支援をいただきました。

■(株)セイビ堂様・東洋計測(株)様

プロジェクター20台、高性能プロジェクター1台、大型スクリーン1台を寄贈していただきました。

■(株)ミヤザキ様・大海工業(株)様

小学校9校、幼稚園・保育園4園において、老朽化した遊具や使用していない飼育小屋など合計24基を撤去していただきました。

詳細は鹿嶋市ホームページから▶



▲プロジェクターを使用して授業する様子



▲遊具撤去の様子

地域クラブ活動で週末をもっと楽しく！

鹿嶋市では、土日祝日の中学校部活動の代わりに、地域の方が指導する「地域クラブ」を開設しています。

今回は、卓球と軟式野球で活動する中学生を取材しました。

卓球

指導者の方のおかげで苦手を克服できて、自信につながります。上下関係が厳し過ぎず、友達みたいに仲間と活動できて楽しいです。参加者が増えたら嬉しいので、卓球未経験者もぜひ参加してみたいです！（中学2年生 齊藤さん）

軟式野球

休日も野球がしたくて参加しています。試合形式の練習がしたいので、もう少し参加者が増えると嬉しいです。ちなみに、推し選手はメジャーリーガーの岡本和真選手です！（参加者一同）



[地域クラブの概要(かしまスポーツクラブ)]

対象：中学生どなたでも

参加費：月額500円（複数種目参加可）

※入会金500円、互助会費年額300円が別途必要

申込：かしまスポーツクラブのホームページから



『大相撲鹿行鹿嶋場所』観戦レポート

4月15日、「令和八年春巡業 大相撲鹿行鹿嶋場所」が開催され、波野小学校の5・6年生138名が観戦しました。

【児童たちの様子】

力士の体の大きさや、ぶつかり合う凄まじい衝撃音と迫力に、児童たちは釘付けでした。事前に学んだ「決まり手」のアナウンスには、「これ知っている！」と知識と体験が結びついた喜びの表情を見せていました。特に茨城県出身の高安関が登場した際の会場の一体感は圧巻で、児童たちも心からのエールを送りました。

【波野小学校 宮内校長のコメント】

「百聞は一見に如かず」。迫力ある土俵の熱気は、子どもたちの心に深く刻まれたようです。伝統文化の醍醐味を肌で感じた、貴重な一日となりました。開催にご尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



▲ 5年生の集合写真



▲ 6年生の集合写真

掲載しきれなかった写真を

鹿嶋市ホームページで公開中です▶



▲北条時鄰『鹿嶋志』より「相撲」
(鹿嶋市立中央図書館蔵)

四月十五日にカシマスポーツセンターで大相撲鹿行鹿嶋場所が開催され、大盛況のうちに幕を閉じました。鹿嶋と相撲については、古くから深い縁があります。古事記には、鹿島神宮の御祭神である武甕槌神が、大國主命一族と国ゆずりの交渉をされた際に、その御子建名方命と力比べをされた、という神話が記されています。これに由来し、鹿島神宮では毎年十一月三日に相撲祭が行われています。宮中地区の各区が輪番となり、十歳以下の子どもたちが、化

鹿嶋の文化財（第十八回） 相撲祭

「鹿嶋志」の詳細はこちら▶



粧まわしをつけて相撲を取ります。勝敗はすべて引き分けとするのが定めます。

左上の絵は、江戸時代後期の国学者で鹿島神宮の神官であった北条時鄰の著作『鹿嶋志』に掲載されている、鹿島神宮の境内で行われた「相撲」の様子です。現在の相撲祭に当たりますが、当時は九月九日の夜に行われており、「篝火に神宝の廣鉾をかざす」などの神事の後に、「童子たちが東西から出て三番ずつ取った」と記録されています。また、この日は、町内でも土俵を構えて相撲を取る習わしもあり、とても賑わったといえます。

「マンガかしまの歴史」第6巻を刊行しました！
詳細はこちら▶